

手術支援ロボット「Mako(メイコー)」

－ 2 台目導入 －



患者さんからのニーズが高く、より多くの手術に対応できるように、新たに2台目を導入しました！Makoを2台所有している病院は日本で数少なく、使い分け・操作をスムーズに行えるように、Mako 2台に名前を付けました。



Makoは人工関節の設置精度の向上、術後の疼痛の低減や高い機能回復が期待できます。



人工股関節術後により快適な生活を目指して ロボットMako(メイコー)2台目の導入

～メイちゃんとかうくん～



股関節・人工股関節センター
整形外科 青田 恵郎

ロボット支援システム（Makoシステム）を導入してから2年が経過し600例を超える手術を行いました。手術では股関節の調整が非常にしやすく、術後下肢の違和感を訴える患者さんが少なく、たくさんの患者さんが綺麗な歩き方になったと思います。

人工股関節置換術ではロボットでインプラントの位置や角度を正確に設置し、術者の手でそれぞれの患者さんにあわせた筋腱の硬さを加味した調整をします。一つの目安ですが、術後の左右の下肢長差が±5mm以内が患者さんにとって違和感が少なく歩きやすくなると報告されています。今年5月の日本整形外科学会で報告しましたが、Makoシステムでの手術は誤差少なくインプラント設置ができ、99%の例で下肢長差が±5mmに設置ができる結果でした。

現在1台の稼働では適用が制限されるため、この4月に2台目を導入しました。メイちゃんとかうくと名前を付けました。

これからも患者さんのより快適な術後の生活を目指して診療したいと思います。宜しくお願いいたします。

2024年5月 日本整形外科学会ランチョンセミナー発表 青田

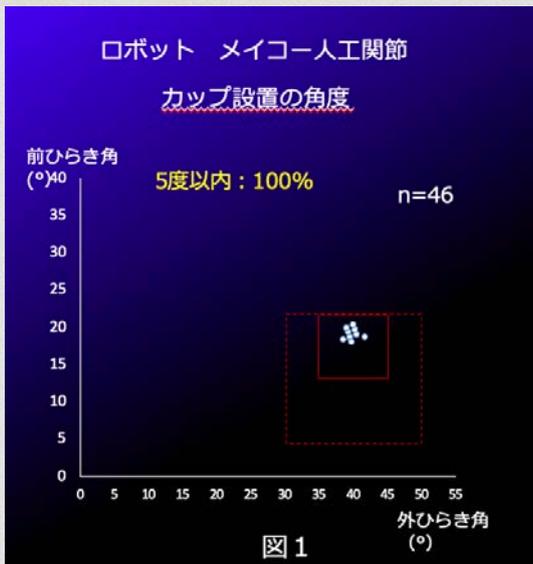


図1. 正確な設置（実線赤枠内）

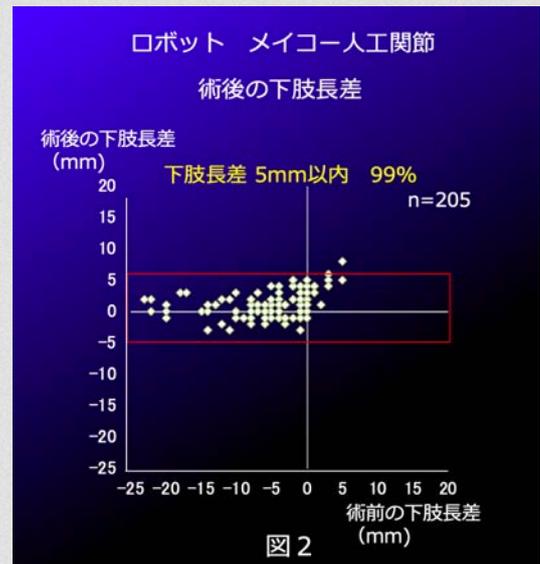


図2. 歩きやすく5mm以内の調整が殆どで可能（赤枠内）

名前: メイちゃん
性別: 女の子
開発者: Stryker
誕生日: 2022.2
役割: 医療手術支援
ロボットヒロイン
特技: 早く元気になれるお手伝い!



名前: Kouくん
性別: 男の子
開発者: Stryker
誕生日: 2024.4
役割: 医療手術支援
ロボットヒーロー
特技: 体への負担を軽減する!